

令和4年度第2回総合教育会議会議録

令和4年第2回総合教育会議が、令和4年11月24日、午後3時00分、塩尻総合文化センター大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

議事第1号 教育の条件整備等について
(1) 百瀬市政の教育について

5 その他

6 閉 会

○ 出席者

市 長	百 瀬 敬	副市長	石 坂 健 一
教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委 員	小 林 夕 香	委 員	徳 武 あ ゆ 子
委 員	甕 剛		

○ 欠席者

なし

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	太 田 文 和	生涯学習部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊 井 美 恵 子	生涯学習部次長(社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
こども課長	竹 中 康 成	平出博物館長	小 松 学
家庭支援課長	植 野 敦 司	市民交流センター長(図書館長)	上 條 史 生
主任学校教育指導員	村 上 啓	文化財課長	中 村 琴 江

○ 事務局出席者

教育企画係長 佐 藤 智 樹

1 開 会

太田こども教育部長 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第2回総合教育会議を開会いたします。本日の進行を務めさせていただきます、こども教育部長の太田と申します。よろしくお願いいたします。

2 市長挨拶

太田こども教育部長 それでは初めに、百瀬市長から御挨拶をお願いいたします。

百瀬市長 皆さん、こんにちは。塩尻市長の百瀬敬でございます。本日は、お忙しいところをお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日開催します総合教育会議でございますけれども、地方公共団体の長、市長と教育委員会が十分な議論を図り、地域の教育のレベルを上げていく、そういった会議でございます。皆様方の御意見を頂戴しながら、しっかりと、よりよい教育行政を進めてまいりたいと考えております。

私、10月に市長就任をしたわけでございますけれども、政策の大きな柱に、子育て・教育と福祉、これを両輪で進めていく、そんな形で選挙戦を戦ってまいりました。また、徹底した対話と現場主義、そういった基本姿勢を示した中で、やはり教育の中で1つ重要な要素、これは私が考えるところでございますけれども、今置かれている状況や、どんなことが教育現場で起きているのか、そういったことをしっかりと保護者の皆様、御家庭の皆様、あと地域や社会に対して発信をしていくことがとても大事なのかなと、そのように感じております。

後ほど、議事の中で教育の条件等の整備についてということで、私の市政の教育についてという議題がございます。その中でも若干触れさせていただきまして、皆さんの御意見を頂戴する中、また議論を交わす中で、塩尻市のよりよい教育を目指してまいりたいと考えております。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

太田こども教育部長 ありがとうございます。

なお、本日、石坂副市長にも御出席いただいておりますので、御承知おきいただければと思います。

3 教育長挨拶

太田こども教育部長 続きまして、赤羽教育長から挨拶をお願いします。

赤羽教育長 まず初めに、最近うれしいことがあったので御報告させていただきます。コミュニティ・スクールの会長さんと教育長との懇談会の席の中で、塩尻西小学校の通学路の横断歩道の前に、古い朽ちた鉄板の看板がある。それがいつ落ちるか分からないということで、ぜひ撤去してほしいという要望を頂きました。私もすぐ現場に行って写真を撮って、教育委員会事務局に対応をお願いしました。

先週の木曜日ですが、錆びた看板の撤去作業と同時に、そこに2面カーブミラーのついた新しいポールが設置されて、担当の会長さんから感謝の声が届きました。早速私も現場に行きますと、西小の通学路はかなり危険なところがあるのですが、カーブミラーによって見通しがよくなったということを感じました。

横断歩道には、端と端に黄色い横断旗を入れる箱がありまして、そこに目が行ったので中を覗くと、普通、ガチャンと入れてしまうのですが、きれいに全部巻かれて横断旗が

立ててありました。もう1か所の別の横断歩道のところに行くと、同じようにきれいに巻かれた横断旗、私は初めてこんな姿を見てびっくりしました。2か所とも、コミュニティ・スクールの見守りのボランティアさんが毎朝そこに立てて見守っている横断旗でした。大変私はうれしく感じました。

さて、本日の総合教育会議ですけれども、今年度2度目となります。今回は百瀬新市長、それから石坂副市長もお迎えして、教育を行うための諸条件について、これからお話しできるいい機会を頂きました。お忙しい中、ありがとうございました。

百瀬市長は、就任後各地区でタウンミーティング等、積極的に市民の皆様との対話を重ねてまいりました。ここにいる4名の教育委員さんは、先ほど話題に出たのですが、「こんにちは教育委員会」とか諸表簿の点検で、今年度4校を回ったり、あと各行事だとか研修会等に、実際現場に参加されて現場の声を、この毎月行われている定例教育委員会で意見を言っただいております。ぜひ、そのようなこともこの場で伝え合える、いい機会になればと思っております。本日はよろしくお願いたします。以上です。

4 議 事

○議事第1号 教育の条件整備等について

(1) 小口市政 20年間の教育について

太田子ども教育部長 それでは、次第に沿いまして議事に入らせていただきます。

議事第1号、教育の条件整備等についてを議題といたします。百瀬市長から教育に係る施策について、市長マニフェストに基づいてお話を頂きたいと思っております。では市長、よろしくお願いたします。

百瀬市長 議事第1号について、お話を差し上げます。着座にて失礼いたします。まず、綴られているA3横の資料を御覧いただければと思います。こちらの資料ですけれども、10月13日から11月4日まで市内10地区で行いましたタウンミーティングで使った資料であります。

第五次塩尻市総合計画、第3期中期戦略への私の政策の反映という資料になるわけです。今、塩尻市が置かれている位置だけお話を差し上げます。右上の横、オレンジ・緑の図を御覧ください。今、塩尻市は第五次総合計画で、市の総合的な計画的な行政を進めております。これが平成27年から令和5年の9年でありまして、その9年間で3年ずつ3つに分けておりまして、今が令和4年度ですので、第3期中期戦略の真ん中の年。令和5年度になりますと、第五次総合計画の9年間の総仕上げをする、そういう年が来年度になってまいります。

令和6年からですけれども、第六次総合計画という、また9年間の計画の予定をしておりますけれども、そういった長期的な計画を策定する、その時期に入っております。そして併せまして、令和4年10月から令和8年9月までが私に与えられた任期4年間でありまして、このマニフェストを実現する4年間ということで、ちょうど大きな計画の転換期、過渡期にある、そういった4年間であります。

この資料の黄色の部分が、今動いている第五次総合計画であります。第五次総合計画は、一番左側を見てもらいますとプロジェクトの施策、ABCとありますけれども、世代別にAですと子育て世代、Bですと働く方、Cですとシニア層、そういった大きな基本戦略が3本ありまして、その下に基本戦略を統括するプロジェクトということで、地域ブランドのプロ

ジェクトや、いわゆる行政経営とか、そういう面が入っております。真ん中の主な取り組みというのが、この左側のプロジェクト、施策をさらに細分化したもので、そういう体系になっております。

その中で、上段の部分が一番の教育、そういった部分になっています。これはタウンミーティングで使った資料でございまして、実はこれは抜粋したものであります。今日、当日配付ですみませんが、A4の資料を配付させていただきました。この資料に基づいて議題を進めていきたいと思っています。

「はじめに」は、本当に大上段の大きな方針でございまして。下から2段目、黒い太字で書いてありますけれども「一人ひとりの幸せを実現する塩尻づくりの設計図」として、私がマニフェストとして200項目まとめたものでございまして。

おめくりいただきますと、ページが5となっておりますが、これが設計図を構成する200の施策・事業になっております。「子どもたちは未来への架け橋」というフレーズを用いました。すべての子どもたちを本気で応援、子育て支援、教育の充実のためにということです。

1番ということで、すべての子どもたち、すべての子育て家庭を応援、塩尻の未来は子どもの未来そのものということで、一番下でございましてけれども、子どもたちの明るい声が響くまちをつくっていく、そういう政策でございまして。

(1)は、出産等に関わる場所ですが割愛させていただきます、(2)から入ります。①0歳から2歳児の保育料を無償化。現時点、財源では1億円くらいかかります。3歳児以上は既に国の制度で実施しております。こちらに、この4年間かけて取り組んでまいりたいと考えております。

②ご家庭で子育てされる世帯への支援ということで入れてあります。塩尻市ですけれども、0歳から2歳児までは家庭保育でぜひお願いしたいと、そういう方針でございまして。ただ、今、0歳から2歳児は幼児教育と言いますか、そちらの重要性、必要性、その訴えもありますので進めていきたいと思っておりますが、ハード的には、非常に0歳から2歳児の保育園の状況が逼迫をしている。なかなか入れる状況にないということもあります。そういったところ、課題解決をしながら進めてまいりたいと考えております。

④一時的保育、病児・病後児保育の充実ですけれども、こちらは令和5年9月に中央スポーツ公園、日の出保育園のところに、病児・病後児保育の施設が出来上がってまいります。そして、⑦児童館・学童保育の充実や民間の放課後の居場所づくりへの支援、この辺を柱に据えております。

続いて6ページ、(3)①でございまして。塩尻市の特色の1つでもあります、元気っ子応援事業、0歳から18歳の支援。今は、いわゆる発達障がいと言いますか、非常に増えている状況でございまして。医者もなかなか予約が取れない、そういう状況を聞いてもいます。どこまでが発達障がい、線引きと言いますか、グレーゾーンという言い方もされてはいますが、そういったところが非常に難しい状況でございましてけれども、医者の先生から聞くと、確実にそういう子が増えているというお話を伺っている。その対応は必要なのかなと思っております。

そして、②貧困の連鎖、ヤングケアラーとかいろんな問題もありますけれども、塩尻市の子どもの貧困率13%ということで、7人に1人が貧困という状況があります。その連鎖は、ぜひとも何らかの支援で断ち切らなければならない。私のうちは貧困家庭だからということ

で、子どもたちが夢や希望を諦めることがない、そういう教育環境づくりを実現していかなければならないと思っております。②③ですが、子どもの虐待の関係であり、子育て家庭に心身寄り添う支援を進めていきたいと考えております。

(4)は飛ばしまして、2、一人ひとりの育ちに丁寧に向き合う教育、確かな成長の支援ということで、少人数学級、ICT教育の早期導入、そういったものを塩尻市に進めております。児童・生徒一人一人にタブレットが配られる、そういう時代にもなっていました。そういった中でどういった教育をやっていくのか、考えていかなければならないと思っております。

(1)の②時代の変化に対応した能力と変革期を生きる対応力の獲得。この必要性和、あとは国語力の向上と同時に英語教育、ICTの活用となります。

④「思いやりの心、やさしい心」を育てる、育む教育、必要だと思っております。⑤スポーツ活動を推進し体力を増進ということで、体育教員の教科担任制を導入と掲げております。

⑥保育園、小中学校の給食費負担の軽減と質の向上とあります。自園・自校給食を堅持、これだけは絶対に守っていこうと考えております。塩尻市の自校給食ですけれど、この時代にあって、先生たちも異動してくると塩尻の給食はおいしいというお話をいただきますし、やはり食べるというのは、子どもたちにとっても教育的にも非常に私は大事なことだと思っております。そこだけは惜しみない投資をしていきたいと思っております。

給食費負担の軽減とありますけれども、今、現実問題に軽減することは非常に厳しい状況であります。上がることを抑えるのが精いっぱい、そういう状況でございますが、食材であり、いろいろなものが高騰している中、給食費は今の価格を据え置く形をとることにしっかりと力を入れていきたいと思っておりますし、地域の食材の拡充、有機食材の導入等も進めてまいります。

7ページに行きます。⑦シニア世代の協力や学校支援コーディネーターの配置というところがあります。先ほど、教育長からも話がありましたコミュニティ・スクール、非常にいい効果があるのかと思っておりました。先月、キッズ防災チャレンジ、桔梗小で行ったコミュニティ・スクールの皆さんや地域の皆さんが主体で取り組んだ取組を見ておりました。先生の力を極力借りずに、地域の皆さんが地域の創意工夫で子どもたちにいろいろなことを体験してもらい、そういうよさというの1つ感じております。また、コミュニティ・スクールの皆さんでありますけれども、朝の通学に立ち会っていただく、そういう姿は市内の至るところで、私も朝、選挙で街頭に立っていたものですから、そういう中でも拝見しております。

⑧中高一貫校やインターナショナルスクールですけれども、市の状況は分かりませんが、「理系離れ」という言葉があります。理系、いわゆる化学、技術、工学、数学、文化、アートの部分とかそういったところを含めて、どういった特色ある教育をつくっていくかというの、1つ要かなと思っております。

(2)でございますけれども、一人ひとりに応じた適切な指導や学習機会の提供、子と親の心の支援員の設置であったり、インクルーシブ、今、共生社会という言葉が時代の1つのキーワードになっております。インクルーシブ教育の促進、そんなものを掲げております。

(3)でございますけれども、こちらはハード面であります。先ほども話がありましたが、通学路の安全確保をしっかりと、ここは取り組んでいかなければいけないと思っております。

まちの中を歩いていて、ここを子どもたちが歩くのかという道は幾つもありました。郷原街道もそうですし、北小野 153 号であったり、片丘の県道であったり、非常に通学路としては危ない道が多数ありますので、そういったところを少しでも解消していく。高出では、バンブ、道路に段差をつけた山を設けて速度を抑制する、そういったものが生活道路にできています。市内、生活道路が抜け道になっているところが非常に多くて、そこを速いスピードの車がどんどん抜けていくところが通学路になっています。そういうところの安全確保、これはしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

あとは教材費の負担軽減の取組の強化ということで、この前、負担を聞きましたところ、学校によってそれぞれ教材の負担額に大分差がある、そういうお話がございました。こういうところの平準化も必要なのかなと思っております。

ここでひとつ、明確な言葉で学校教育の中で掲げなかった中では、不登校です。この対応はどういうふうに取り組んでいくか、いろいろ考えるところがありますが、タウンミーティングでも様々な意見を頂きました。不登校が増えているのも事実でございます。不登校の登校の基準というの、今、学校によってまちまちだという話も聞いています。ある県では、例えばタブレットでログインしただけで出席になるとか、そういうお話もありました。どこで出席扱いにするのか、そういう基準をある程度明確に示していかないと、不登校は、保護者の皆さんも非常に悩んでいると思います。

不登校の皆さん、親の皆さんがつながる場所、親同士で意見を交わす場所がなかなかない、そういう場所を作ってほしいという話もありました。不登校が多い、少ないという判断基準というよりは、やはり児童・生徒の皆さんが、学校へ行けば良い、行かなければ悪いという基準ではなくて、どういう育ちや学びを受けられるか。今はタブレットでも授業ができるようになりましたので、しっかりと、せめて学ぶ、そういう環境を整えていかなければならないと思っております。

教育分野は、学校教育もあり、社会教育もありますが、一旦ここで区切って意見等頂ければと思っております。

太田子ども教育部長 ありがとうございます。それでは、これで意見交換に移りたいと思います。教育委員の皆様からの御意見等、伺いたいと思います。先ほど市長からお話がありました、まずは小中学校の学校教育あたりまでになるかと思えますけれども、忌憚ない御意見をいただければと思います。

碓井教育長職務代理者 職務代理者を務めさせていただいている碓井邦雄と申します。よろしくお願いたします。百瀬市長、このたびは塩尻市長への御就任おめでとうございます。

百瀬市長 どうもありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 それから石坂副市長、副市長御就任おめでとうございます。

石坂副市長 ありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 今後とも教育への御理解、御指導、御支援、よろしくお願いたします。私は長年、学校教育に、義務教育なのですけれども、関わらせていただきました。今、学校教育あたりというお話ですので、少し述べさせていただければと思います。

塩尻市では今まで、市長がおっしゃられましたけれども、元気っ子応援事業とか ICT・情報教育、小学校英語とか、コミュニティ・スクール等、先進的といいますか先駆的といいますか、そういう多くの内容に取り組んでいただいております。これらは、私も実際に

やらせていただいて、とても価値ある取組であると思っております。このような施策もあって、子どもたちの学力については平均的に見ると、よい水準であると私は考えておりますので、今までの取組を大事に、さらに充実させていく方向で、今もお話にありましたけれども一層お願いしたいと思えます。

次に、本日の資料の中に、体育教科担任制の導入という文言があります。やはり教育は知徳体のバランスのとれた、そういう教育を進めていくこと、それはとても大事なことだと私は思っております。そういう中で、先ほど学力について申し上げましたけれども、申し上げました学力の内容は知的な部分がかかなり多いと思えますので、体の部分を取り上げていただいたことは、私個人としても大変うれしい限りであります。市内の子どもたちの体力、運動能力の状況については、ちょっと私、現場を離れてしまっており分かりませんので、事務局で分かれば後で教えていただければと思えますけれども、この体育教科担任制の導入というのは、小学校の専科という、そんなイメージでよろしいのでしょうか。

百瀬市長 はい、そうです。

碓井教育長職務代理者 小学校は、学級担任の先生が体育も基本的には実施している、皆さん御存じのとおりなのですけれども、学級担任が全科やりますので、なかなか体育指導の充実まで手が回らない、そういう現状があります。それで、体育指導の充実を図るということは、現在だけでなく将来の健康づくりの基礎を培う、それにもつながっていくようになりますので、ぜひ進めていただければありがたいと思えます。

それから、今、私が考える市内の学校教育関係の課題なのですが、いろいろあるのですけれども、特に、今、市長さんもおっしゃられました不登校児童生徒の増加と、県の高校再編、これが大きな課題だと思っております。不登校児童生徒については、ここ最近とても増えてきていて、今まで以上にしっかり対応を考えていかないと、今、不登校になっている児童生徒自身も、それから将来の社会も大変な状況になるのではないかと、そんな点を心配しております。事務局でも中学校の校内中間教室の充実等の対策を考えているようであります。今月は、こんにちは教育委員会で塩尻西部中学校を訪問しましたけれども、そこでも校内中間教室に常駐してもらえの方が欲しい、そういう職員を配置して欲しいという切実な声もありますので、ぜひ実現していただければありがたいと、そのようなことをお願いしたいと思えます。

それから県の高校再編については、市内の県立高校が1校になって、普通科がなくなって総合学科新校ということになるという、そういう案ですけれども、本当に県立の普通科が市内からなくなっていいのか、定員の確保は大丈夫か等々、高校は義務教育終了後の子どもたちの大事な進路でありますので、ぜひその辺は慎重に考えていく必要があると思っております。以上です。よろしくお願ひいたします。

百瀬市長 貴重なお話、ありがとうございます。元先生のお立場から、いろいろな教育のお話をいただきました。まず先進的というところで、ずっと先進的であり続けるというのは非常にハードルの高いところでもありますけれども、私どもの特徴の1つに元気っ子、ICT、そこは力を入れていきたいと思えます。元気っ子は18歳までという話がありますけれども、さらに18歳を過ぎた後でも、そこで急に何か突き放されたような話になってしまうといけないとは思っています。その18歳後というのも、私は1つ、その人の人生をサポートしていくのは大事なことなのだとは思っております。

あと、体育教科の担任制のお話がありましたけれど、国でも若干の検討がなされているかと思しますので、そういった状況もうまく使いながら、あとは、どなたになっていただくかというのが一番大事なところかなと思っております。

不登校のお話はいただいたとおりでございまして、私も高校再編、非常に危惧をしております。先日、田川高等学校の40周年の記念の式典があったのですけれども、ああいう案が示された直後なものですから、お祝いムードというよりは何かちょっと違う雰囲気が出てしまっていたのかなというところは感じましたし、今、通われている生徒にとっても、決して好ましい状況ではないのかなと思って見てきました。こちら県も情報提供しながら進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

碓井教育長職務代理人 よろしくお願ひいたします。

小林委員 挨拶をどうしたらいいかわからないのですけれど、もう1回挨拶したほうがいいのか。先日の市P連のときに御挨拶に伺わず失礼いたしました。よろしくお願ひいたします。

百瀬市長 とんでもございません。どうぞよろしくお願ひいたします。

小林委員 私は30歳になる自閉症の息子がいるので、障がい者教育とか障がい者のことでお話をさせていただきます。先ほど市長さんも言われたように18歳以降の元気っ子応援事業が、18歳以上になったという最近のことがとても意義があるなと思って、これからももちろん助けてもらいたいと思っている立場なので、充実していただきたいと思います。

一昨年、昨年と2年間、教育支援会議にも出させていただいて、先ほど市長さんがおっしゃったように、その2年間でもかなり障がい児や、障がい児なのか健常なのかのグレーゾーンのお子さんがどんどん増えてきています。小学校、中学校の時期は先生が目も届くし、親もちょっと必死になっていろいろとフォローしていくことができると思うのですけれども、高校に入ると、何か起きたときは先生が助けてくれるという、そういうことがあって、その18歳を過ぎて就職というときには、自力で何とかするしかないという感じです。今は、ジョブカフェではなくて何と言うのですか、何かそういう支援をしてくれるところがあったので少しいいかなと思います。

18歳以降は人生のサポートということをおっしゃいましたけれども、私はコロナになる前から、市で初めて養成講座を開いてくれたので、成年後見人の勉強を少ししていたのですけれども、コロナになってしまって途中になっているのです。塩尻市には、そういった正式な後見人の方がいらっしゃらなくて、松本市から講師を頼んだりしているような状態だったのです。そういうことを見ていると、本当に困るのは親が亡くなる頃だと思うので、成年後見人というと高齢者のことはできてきているのですけれど、やはり高齢者と障がい者は違います。障がい者は早い年齢から後見人についてもらったりすると、1回ついたら外せなくなるとか、いろいろと縛りがあるので、いろいろな人に助けてもらわないと、後見人さん1人だけでは豊かな人生は送れないなと思っています。

自分の息子なんかを見ていると、やはり親だけではだめだし、先生だけでもだめだし、会社の方だけでもだめだし、やはり自分が出歩く中で、いろいろな人に困ったときに助けってもらえるということが大事だと思います。そういうふうな仕組みをつくっていくということで、今のところ教育という過程で充実をという感じがするのですけれど、先ほどおっしゃったように18歳以降、支えていく人たちの養成、成年後見人を含めてサポートしていく人たちの養成も含めてやっていかないと、どんどん障がいのあるお子さんが増えてきたり、もちろん

障がいがなくとも社会に参加できないお子さん、成人している人たちも増えてきているので、そういう人たちを支えるための人材確保をしていっていただきたいということをお願いしたいとずっと思ってきました。今日お話しできるのを期待しておりました。よろしくお願ひしたいと思います。

百瀬市長 ありがとうございます。今のお話であります、やはり、障がい者の方ですけれども、ある程度になってしまうと受け入れてもらえるところがなくて、現実、市外の施設に通われていると、そんなお声ももらっていますので、そういったところの支援をお話を伺いながら進めていきたいと思っています。

また、成年後見人ですけれども、制度そのものが、やはりまだなかなか理解されていないかなというのがあります。野澤先生が一生懸命やってくくださったのが、ちょっと残念な形になってしまいましたし、その制度含めて、今お話しいただきましたので、そういったことの理解が進んでうまく制度が活用できる仕組みづくり、社会づくりをつくっていききたいと思っています。ありがとうございます。

徳武委員 よろしくお願ひいたします。教育委員をしております徳武と申します。よろしくお願ひいたします。

百瀬市長 よろしくお願ひします。いつも子どももお世話になっております。

徳武委員 こちらこそ。挨拶が遅くなって本当に申し訳ありませんでした。お願ひいたします。私も市長と同じです。子育て真っ最中で、いろいろ考えることはあるのですけれども、子どもがやはり安全に学校に楽しく行けるとというのが本当に一番だと思っています。先ほどの自校給食の件もそうですけれども、給食が楽しみで学校に行ったり、体育の授業が楽しみで行ったり、そういうことが本当に学校に行く一番の活力になって行っています。

そういう中で、先ほどもお話がありましたけれども、学校に残念ながらちょっと行きたくない、不登校気味の子がいるのも事実でありまして、そういう子が増えてきているというのがあります。やはり、子どももそうなのですけれども、実際、御両親がとても悩んでいたというのですか、親が疲弊してしまっているということが、すごく私は気にかかっています。子どものサポートはもちろんなのですけれども、先ほどもありましたように、親がどこかでそういう意見を述べられたりですとか、集まって話ができるというようなことがどこかにあればいいなと、すごく思っております。

また、マニフェストを見せていただいたのですけれども、引きこもりに関する家庭へのサポート、それからそういうことに関して親も子もみんなで話ができる、どこかそういう場所があればすごくいいと思いますし、ちょっと下の段になるのですけれども、身近な公園の遊具の更新というのをここに書かれています。うちの近所もそうなのですけれども、公園の遊具が壊れてしまって、撤去されたままになってしまっているところが結構あるのです。子どもが外に出て遊ぶ機会がすごく少なくなってしまひまして、そういう近所の公園にお友達同士でみんなで行って楽しく遊ぶというのも、引きこもりではないですけれども、外に出るきっかけだと思っています。昔みたいに、にぎやかにワーッと声がするというような公園が、遊具の更新とかがあれば、そういうことも可能かなと思ひまして、そういった場所づくりですとか、そういうのもすごく必要にはなっているのではないかなと思ひます。ですので、こういったことを一つ一つ、うまく考えていただいて、地域みんなで集まったりとか、子どもが遊びに出て行ったりとか、行事に参加するですとか、そういう場所がちょっと

コロナで大分少なくなはなってきたのですけれども、やはりこれから必要だと思っておりますので、そういったことにまた、行政のほうも関わっていただけたらなと思っております。以上です。

百瀬市長 ありがとうございます。まず、後段にありました遊具の関係の話ですけれども、今の全市のほぼほぼ公園の遊具を全部、安全かどうか点検をしております。安全でない遊具は、まず撤去をするというところを進めております。一番良くない状況が、遊具は目の前にあるけれど黄色いテープでバツテンがしてある。その状態は、それは子どもにとっても非常に残念なことで好ましくないと思っております。そういうのは極力撤去を、今、優先させてもらっています。

その後の遊具の設置ですが、計画的に進めますけれども、ちょっとスピードアップするように来年の予算の中で増額をしていくような調整を進めております。身近な公園で子どもたち同士が遊ぶということは、非常に大事なことです。そもそも、高出あたりは身近な公園がないという、そういう声を聞くのです。家のそばに子どもを遊ばせる場所がない、何とかつくってこないかという、そういうような話も現実には聞いております。

壺委員 教育委員の壺です。よろしく申し上げます。市長のいいお話の後に大変恐縮なのですが、家庭支援をたくさんしていただけるような話をされたのですが、第六次総合計画案が8月に出た中で、市民が最優先の支援をする、投資をする分野で、やはり子ども・子育てを、最優先で挙げられたのですね。たしか五次のときは、医療とか介護とか福祉だったと思うのです。でもコロナ禍で、この世の中の動きを見て、市民は、この分野に投資をするべきだ、それがまちづくりなのだというふうに私は読み取りました。

その中で、どうしても私はずっと言っているのですけれども、中学の、今、制服の採寸とか始まっている時期だと思うのですが、各学校の特色を出した制服、もちろん素材のいいものを使っていると思うのですけれども、運動着とか運動靴というのを各家庭が購入し、一括で支払わなければいけない。先ほど、貧困家庭が13%とおっしゃったように、そういった高額な準備予算が必要になるのです。また入学するに当たって、それプラス副教材なんかも結構金額が高く、必ず必要になってきます。

これ、中学だけではなく小学校もそうなのですけれども、私は中学でいいと思うのですが、中学校は、多分毎年上がる人数って500人ぐらいですかね。1人当たりの入学準備金がおおよそ十二、三万円になるのかな。そうなってくると、その予算付けをして、市のほうで、入学のお祝いとして、各家庭に制服、副教材費をプレゼントするような形を取っていただけたら、すごくかっこいい市だなと思っているのが1つです。

あともう1つ、先週、波田小学校で、先生の働き方改革を、民間の力を取り入れ展開している「未来の教室」という授業、これに参加して教員の働き方改革をしようという取組を始めたという報道がありました。私、調べてみたのですけれども、各学校や先生発信で独自の働き方改革をするのは難しいですよ。そこである学校ではその民間の力を取り入れて、先生方の働き方をデータ化し、何に一番時間を取られていて、その中で何がいらぬものなのかというのを分析した結果、時間外労働の何時間か減らせるような結果となったようです。まずこうした取り組みに投資していただくのもありかなと思っております。

塩尻市は、のるーとや自動運転などの実証実験にすごく力を入れている市だと思うので、教育のそういうところに力を入れるのも塩尻市の魅力の一つになるのではないかと思います。

す。

3つ目、最後なのですけれども、2025年までに、中学の部活動の地域移行なのですが、これは、果たしてできることなのか。やるとすれば、どういった取組をしていかなければいけないのかというのがすごく課題になると思うのです。もしかすると、部活動自体がなくなってしまうのではないかと考えているお子さんもいて、運動系は外にクラブ等があるのでまだ何とかなるとしても、文科系の吹奏楽部などはとても難しい部活だと思うので、そういったことをどのように取り組んでいくのかなというところを早期に検討していただきたいと思っています。以上です。

百瀬市長 ありがとうございます。

まず1点目、入学のときにかかる費用のお話であります。選挙で政策を考えるときに、全ての皆さんの制服に関わってしまうのもありではないかとか、そういうお話もありました。

今、市では、就学援助費でお出ししているのですけれども、その在り方ですね。所得的な話をしてしまうと申し訳ないのですが、どうしても所得は、それぞれによって算出計算がありますので、それをいかに平らにできるかというところが、行政の税金の使い方、いわゆる平等配付ではなくて、公平になるような形の支援というのが必要なかなと思っていますので、ありようについては、予算の関係上、即答できなくて申し訳ないのですけれども、考えていきたいなと思っています。

2点目、波田の事例がありましたけれども、今、教員の皆さんも保育士の皆さんも、いわゆる資格を生かしてやっている仕事と、中には資格がなくてもできる仕事と、両方やっていると思うのです。保育士の資格を持っている人には、いわゆる保育士の仕事に専念してもらって、保育士の免許がなくてもできる保育園内の仕事、それは資格がない人に行ってもらって、保育士不足の解消も進めていこうという、そういった話があります。

学校の先生も、先生の資格を持ってやる教員の業務のほかに、先生の免許がなくてもできる仕事があるので、そこをスリム化するだけで、先生の仕事の効率が上がるのではないかと考えています。これは研究段階ですが、そんな検討をしていることを御承知おきください。

あと、2025年問題がありましたけれども、どういうふうに取り組んでいこうか、考えていこうかと思っています。歯切れが悪くて申し訳ないのですけれども、いずれにしても、いろいろな方面と情報交換して、意見を交換しながらやっていきたいと思っています。

社会体育が、市内は都会ほど充実していなくて、できるスポーツというのも限られている。野球があるとかサッカーがあるとか、そういった社会体育の充実みたいなのが、まずは必要になってくるのかなと思っています。さっきの教科担任制の話ではないですが、どういう人材がいるかというところで、大分対応が変わってきてしまう事案なのかなと思っていますが、専門的な方がやったほうが伸びるものであれば、それは伸びたほうが当然いいに決まっていますので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございます。

太田子ども教育部長 時間が迫っていますので、社会教育のほうからありましたら。

百瀬市長 社会教育から若干、取組をお話しさせていただきますと、先ほどの資料のところ、ページでいきますと、1つが、10ページの一番下、公民館活動で触れておりますし、13ページに、文化芸術・スポーツを通じたにぎわいと活力の創出。そういったところがあります。

1番の懸案事項でございます。これから博物館を整備していかなければならないというところで、博物館をどういった形で整備していくのか、あと、市民のスポーツ活動の支援と

というのは、先ほどの教科担任制なり、部活動の話、そのことに通じていくものかと思っています。

あと、もう1つ、野球場ですね。どういうふうに通じていくか。そんなことも大事ではないかと思っております。簡単ですが、以上です。

太田こども教育部長 ありがとうございます。では、ほかの課題頂いた部分で、気になるようなことがあれば、我々を通じてお話しいただいても結構です。お願いしたいと思います。

百瀬市長 社会教育でもう1つ、18ページになりますけれども、えんぱ一く、えんてらすがありまして、こちらは、図書館などを見るにつけ、市の子どもたちの教育の中では役に立っている部分が大いのかと思っております。ああいう図書館があるから、まちに住むという人がいるくらいの自治体、塩尻市になってきました。その辺も、もし、えんぱ一くとかえんてらすを見て、教育委員の立場から何かお話があれば、せっかくの機会ですので頂戴できればと思っております。

小林委員 願いとして、えんぱ一くの会場で、いろんなイベントとか、例えば何かやっているときに、案内板というのはどこにあるのだろうと思って。2階のエレベーターのところに、電光掲示板か何かで案内されていて、慣れていないと、それがパッパッパッと変わっていくような案内版になっているような気がするのですけれど。

百瀬市長 そうです。フロアごとに、順繰りに今日やっている会議室の利用目的が分かるようになっております。

小林委員 年がいくとついていけないというのか、すごく分かりづらくて、会場に行ったはいけど、どこ見ればいいのか、警備員さんに聞いて、ここにありますよと言われても、掲示板はさっさと動いていくし、そういうところが不親切かなと思って。できれば、案内板は、入り口のところにあるのが、そういうものだと思っているので。でも、そういう方が多いと思うので、そこら辺を改良していただけると、スムーズに、自分の行きたいところとか、行ってみたいところとかへ行ける。あと、子どもたちのイベントが、結構やっているのだけれど、そういうのを市民の方に知ってもらう意味でも、宣伝も兼ねて、ちゃんと固定したボードに、いつでもじっと見られるみたいな、そういうものがあるといいなと思っています。

百瀬市長 ありがとうございます。見せ方を工夫して、分かりやすくしていきたいと思っています。

御指摘のとおり、市でどんな催しをやっているのか、一元的につかむのが難しいというところがあると思いますので、工夫をしてみたいと思います。ありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 えんぱ一く、えんてらすは、とてもよい施設だと思っています。いつ行ってもとても混んでいて、利用頻度、高いのではないかと感じています。机と椅子が置いてあって、みんなが利用できるスペースについて、特にえんてらすは、予約しなくては使えないという、そういう状況があると聞いています。広さ的にも厳しい状況があるかと思うのですが、あのようなスペースってというのは、とても使いやすいと思いますし、広丘も大勢人がいるものですから、その辺のところも、拡充というのはなかなか難しいかもしれませんが、ちょっと御配慮いただけると、よりいいのではないかなと思っています。

百瀬市長 ありがとうございます。えんてらすの特に2階なのでありますが、勉強できるスペースは、ほんとにいつ見ても満席ですので、より利用しやすい環境を検討してみたいと思います。ありがとうございます。

太田こども教育部長 せっかく今日は副市長がお見えなので、一言何か。

石坂副市長 石坂でございます。市政は本当に初心者でございます、様々なこと、教育のことに関しましても、皆様からいろいろと御指導御鞭撻を頂いて、私も学びながら、市長、あるいは職員の皆さんのバックアップをしていきたいと思っております。どうぞこれからもよろしくをお願いします。

塩尻市が今まで取り組んできた教育に関する熱意とか、新百瀬市長もそれを引き継いでさらによりよくしていくという、熱い意気込みを私も切に感じているところでございます。

ベーシックなところで、最低限の教育だとか、最低限というのは、みんなに開かれたといえますか、全員の教育と学びの機会をきちんと整備して享受していただくということと、そこに、その土台に乗って、より塩尻らしいよさとか、学びの特徴ということを上乗せしていく。2段階で、ベーシックなところは、きちんと整備するところは早急に整備をしていくということと、さらにその上に塩尻市らしさというものを積み上げていく必要があるのかなど。本当に、概観としてそんなお話しかできないのですけれども、そんなふうに思っています。

いずれにしても、教育長ともお話ししていて、やはり学び、教育が人間の根幹だと私も思っていますので、そこは、市長と一緒に、最大限に強化していきたいと考えております。またどうぞ、これからもよろしくお願いをいたします。

太田こども教育部長 ありがとうございます。

5 その他

太田こども教育部長 それでは次、その他のほうに入りたいと思いますが、何か連絡事項等よろしいですか。

6 閉会

太田こども教育部長 それでは、本日の会議事項は全て終了いたしましたので、これにて閉会をしたいと思います。ありがとうございます。

○ 午後4時02分に閉会する。

以上

令和4年12月22日

署 名

市 長

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
